

岐阜市立岐阜商業高等学校

校長 林 田 仁

学校住所 岐阜市鏡島南2丁目7番1号 TEL 058-251-0165

1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 委員 安藤久男 鏡島自治会連合会会長
竹本康史 岐阜聖徳学園大学教授
川田博子 元PTA会長
瀬瀬孝義 東栄管機株式会社生産部長(所用のため欠席)

学校側	林 田 仁	校 長
	種 田 実津男	事 務 長
	片 桐 郁 至	教 頭
	瀬 瀬 良 二	教務主任
	廣 江 修	生徒指導主事
	森 公 彦	進路指導主事
	小 林 和 豊	商業科主任
	美濃島 広 幸	特別活動部長
	今 井 哲	デパート課長

3 会議の目的 地域社会との連携を深め、開かれた特色ある学校運営を推進する。

4 会議の開催 平成27年1月29日(木) 14:00~15:00
本校 校長室

5 会議の概要

(1) 挨拶(学校長)

本校の恒例行事となった「第32回市岐商デパート」を初めて「柳ヶ瀬本通り」で開催し、多数の方々にご来場いただき、売上高は例年より一割増となった。しかし近隣の方々には開催場所の変更に伴って多大なご迷惑をかけた。また仕入高の見積りが甘く、追加仕入もできなかつたため完売店が続出し来客者に迷惑を掛けた。課題となる事柄もあったが、生徒にとっては物を売ることの楽しさや、厳しさについてかけがえのない貴重な体験となった。

生徒の学校生活については、全体的には落ち着きがあり、進路実現及び、授業や部活動において、検定等の資格取得、全国大会への出場等一定の成果があった。

本校の卒業生が専門学校在籍中に公認会計士試験に合格し、報告のために来校した。在校生の手本となる快挙である。

(2) 市岐商デパートDVD視聴

岐阜市企画、ぎふチャン制作の市岐商デパートの記録DVDを視聴する。

(3) 学校説明

ア 教頭（自己評価・学校関係者評価から学校経営についての報告）

保護者のアンケート結果から、「学校の教育目標である『市岐商ブランドの確立』に共感できる。」について92.0%の理解を得ており、また「単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育成しようとする校風が感じられる。」について、96.2%の評価を得ている。好評価を得ていることに甘んぜずさらに、学校の教育方針等について浸透するよう努めていきたい。

イ 教務部（自己評価・学校関係者評価全般についての報告）

学校関係者評価の保護者からのアンケートでは「教育方針・学校経営」「家庭との連携」「教職員」「学習指導」「生徒指導」等全ての質問項目について「よくあてはまる」「ややあてはまる」との回答を80%以上得ることができた。「お子さんがよるこんで学校に行っている」についても「あてはまる」に95.0%の回答を得ることができている。「学校からの連絡文書等は保護者に確実に届けられている」について「あまりあてはまらない」の回答が16.5%と昨年と同様の数値であった。今後対策を講じていきたい。生徒からのアンケート結果についても、高評価を得ることができた。今後も学習指導、生徒指導等積極的に行っていきたい。各質問項目について、「わからない」との回答も若干あった。その理由について確認していきたい。

ウ 生徒指導部（生徒の様子について）

登下校中の交通事故について本年度は11件発生している。4月に集中して発生している。幸いに大きな怪我とはなっていないが、今後も交通安全の啓蒙活動を続けていきたい。

遅刻件数については、減少傾向にある。生活習慣を確立させるためにも遅刻を無くすよう継続して指導を行っていきたい。朝の校門での挨拶指導は生徒の基本的なマナーの指導となっている。継続して実施していきたい。

エ 進路指導部（進路状況について）

就職者と進学者の割合は33%対67%である。また求人倍率は就職希望者に対し10.09倍で全員内定の通知を受け取っている。今年度の取り組みとして、就職希望者には、職員や、夏休みの期間を利用してOBによる面接指導を実施した。3年生の生徒全員に小論文指導の実施、外部講師によるガイダンスを実施した。

オ 特別活動部（部活動の活動状況について）

全国高等学校総合体育大会において陸上競技部男子砲丸投が入賞、またハンドボール部が出場、東海高等学校総合体育大会ではハンドボール部準優勝、陸上競技

部砲丸投、やり投、円盤投が入賞し、剣道部、相撲部が出場した。

また、生徒会とマルチメディア研究部による、エコワングランプリでイオン・エコの環トライ賞を受賞した。

カ 商業教育部（市岐商デパートについて）

「柳ヶ瀬本通り」で開催し、当日の総来客数 9,696 人、当日の総売上げ¥7,045,731 となった。株主総会において決算報告を行い、売上高は例年に比較増となったものの会場変更にもなう消耗品の増大で損失を計上したことを報告した。

生徒の感想文や体験実習ノートには大変貴重な経験となったとの感想が多くあった。

(4) 評議員からの意見

- ・ 進路面接指導で、年々基本的なことができていくように思える。与えられた問いにはそつなく回答できる。さらに個々の特徴や、個性を表現できるとよい。また笑顔で、元気よく、素直な気持ちを表せればよい。
- ・ 全般的に素晴らしくよくできている。また外部評価は素晴らしい結果である。
- ・ 市岐商デパートのプログラムと時刻表を地域に配布し感謝している。市岐商デパートについては、人気商品に顧客が並び、会計に時間がかかるとの声があった。
- ・ 体育大会も活発に行われていた。競技会形式で、他の学校とは異なる方法で興味深かった。
- ・ 自治会からのお願いであるが、全体的にはゴミの分別はよくできている。一部ゴミ出し時にペットボトルのキャップが付いたままの場合がある。分別に協力をお願いしたい。
- ・ この春に比べ登下校の女子生徒の挨拶が、元気よくできるようになった。男女ともに積極的で明るい挨拶ができている。素晴らしいことであり、先生方の日々の生徒指導によるものと思う。
- ・ メールによる学校行事の連絡や、ホームページによる学校の情報発信は、保護者にとって有益であると思う。昨今、親の関心が子に向けられないケースもあると聞くので、今後も積極的に行って欲しい。
- ・ 外部評価について、評価Aが多いが、評価Bにおいてもさらなる努力によって今後良い結果をもたらすと考える。また、「あてはまらない」「わからない」という回答もあるので、それぞれの項目について改善が必要である。
- ・ 個々の生徒の力を伸ばすためにも資格取得等、多くの機会を与え努力させて欲しい。
- ・ 部活動は非常に活発である。さらに女子の活躍できる部活動を活性化させて欲しい。